

すぎなみ大人塾

地域コース：久我山～浜田山コース

みんなで遊楽体験

まち発見クイズ

プロジェクト

学習支援者

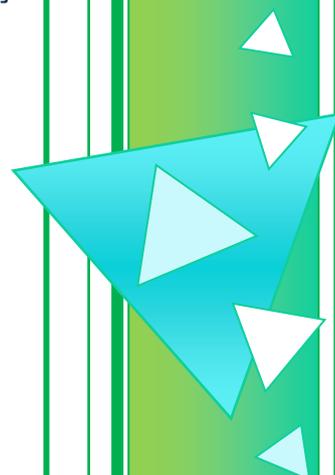
学習支援補助者

矢野 恒

尾関 久子

岡田 美津江

平出 義明



# すぎなみ大人塾 地域コース「久我山～浜田山コース」

## みんなで遊楽体験～まち発見クイズ・プロジェクト～

### 1. 概要

#### 地域コースとは

地域コースは、大人塾の受講修了者や地域で活動する方が中心となって企画・運営を行い、初めて地域とつながりを持つ方を応援する講座です。令和5（2023）年度は、久我山から浜田山を含む高井戸周辺地域を対象に開講しました。

#### 知ることから始める

これまでの生活で、特に住んでいる地域との関わりがあまりなかった方々にも、まずは地域との接点を持つこと、地域のこと（よい所・わるい所・不思議な所など）をより深く知ってもらうことを目的としました。

また、講座の中で深めることができた地域について、楽しく知ってもらうためのクイズづくりを行いました。それを通じて、「地域の魅力」をどのように発信するかを考えたり、可能であれば地域イベント等に参加したりすることも、目的に設定しました。

#### 最初のコミュニケーションを大事に

全8回の講座のうち、2回を受講者同士のコミュニケーションに使うことで、グループワークをよりスムーズに、積極的にできるよう、工夫しています。

当初は緊張したり、話すのに苦手意識を持っていた受講者も、グループ内の他の受講者の話をよく聴きながら、自分からも臆することなく話せるようになっていきます。話し合うのが楽しく盛り上がるのも、この講座の大事な側面です。

令和5年度 すぎなみ大人塾 久我山～浜田山コース

### みんなで遊楽体験

## ～まち発見クイズ・プロジェクト～

住んでいるほど実はよく知らない地域のこと。「まち発見クイズ」づくりを通して地域を知り、「まち」と、「ひと」と、つながりませんか。

**日程** 令和5年6月3日(土)～令和6年2月10日(土)の全9回  
**参加費** 無料(チーム活動にかかわる費用等、一部実費がかかることがあります。)  
**対象** 杉並区在住の方  
**定員** 30名(応募者多数の場合は、抽選になります。)

**申込み方法** 締め切り日: 令和5年5月11日(木)  
申込フォームにて、必要事項をご入力の上、お申込みください。  
※申込み締め切り後も定員に満たない場合は受け付けてありますので、下記までご連絡ください。

申込みは、こちらから！  
QRコード  
申し込みフォーム

【主催・お問合せ】 杉並区社会教育センター  
TEL: 03-3317-6621 (平日8:30～17:00)  
Eメール: shakyo-c@city.suginami.lg.jp

**学習支援員**  
矢野 恒 (中のや主宰、まちづくりコーディネーター)  
これからのまちづくりは、環境・歴史・経済・教育・文化・暮らしなど、その地域に住む人たちが「地域」にどう関わってどう暮らしたいのかを大切にしたい。その一環として、「地域コミュニティ」について一緒に考えていきましょう。

#### コーススケジュール

期	日	時間	会場	テーマ
第1回	6月3日(土)	9:30～12:00	高井戸地域区民センター	遊ぶ、学ぶ、わくわくするを体験しよう ゲスト講師: 西川 正 (インフォメーション)
第2回	7月1日(土)	13:30～16:00	オンライン	みんなとつながろう オンラインで交流し、お互いのことを知り、盛りあがりましょう。オンライン投票システム(Webex)を使用していきます。
第3回	7月29日(土)	13:30～16:00	高井戸地域区民センター	地域のことを自分たちで考えてみよう 学習支援員が地域のまちづくりに関心のある方々と一緒に地域の魅力を発見し、グループワーク、プロジェクトのペースとまち発見クイズの作成を行います。
第4回	8月19日(土)	13:30～16:00	高井戸地域区民センター	地域を歩いて発見しよう グループごとに地域を歩き、地域の魅力や課題を発見し、発見したことを写真や音声で記録し、「発見」したことをテーマにコミュニケーションを行います。
第5回	9月9日(土)	13:30～16:00	浜田山会館	地域の歴史を知ろう ゲスト講師: 郷土博物館学芸員 地域の歴史を知ることの大切さ、「まち」が生まれること、まちづくりの大切さについて学びます。
第6回	10月14日(土)	13:30～16:00	浜田山会館	「まち発見クイズ」をつくろう これまで作成した地域発見マップをベースに、グループごとに4チームに分かれ、「まち発見クイズ」の作成を行います。
第7回	11月26日(日)	13:30～16:00	浜田山会館	「まち発見クイズ」を遊ぼう 受講者同士でクイズを楽しく遊ぼう。「まち」について、仲間と一緒に知識を「発見」します。
第8回	1月13日(土)	13:30～16:00	浜田山会館	クイズづくりを振り返ろう 各グループの「まち発見クイズ」を見て、体験して、グループごとに感想等をまとめる予定です。
第9回	2月10日(土)	13:30～16:30	オンライン発表	成果を発表しよう 各コースごとの作成されたまち発見クイズを発表します。コースを超えた交流で新たな気づき、発見が生まれます。

**学びあいの伴走者**  
鹿間 久子 (ソーシャルワーカー)  
関田 美津江 (青少年委員)  
平出 義明 (メディア・広報研究会主宰)  
すぎなみ大人塾受講生や地域で活動されている方が皆さんの学びに伴走します。

## 2. 実施状況

講座（全9回） 時間：13:30～16:00 会場：高井戸区民センター、浜田山会館

学習支援者：矢野 恒（やのや主宰、まちづくりコーディネーター）

学びあいの伴走人（学習支援補助者）：尾関 久子、岡田 美津江、平出 義明

	日	内容	参加
1	6月3日（土）	遊ぶ、学ぶ、わくわくする体験をしよう	27人
2	7月1日（土）	みんなとつながろう	21人
3	7月29日（土）	地域のことを自分たちで考えてみよう	26人
4	8月19日（土）	地域を歩いて発見しよう	22人
5	9月9日（土）	地域の歴史を知ろう	23人
6	10月14日（土）	「まち発見クイズ」をつくろう	21人
7	11月26日（日）	「まち発見クイズ」で遊ぼう	21人
8	1月13日（土）	クイズづくりをふりかえろう	19人
	令和6年2月10日（土）	成果を発表しよう（合同成果発表会）	15人

## 3. 受講者データ（年代内訳）

40代	50代	60代	70代	合計
1人	7人	16人	6人	30人

## 4. 参加前アンケート

- 自分が住む地域の文化、人との触れ合いなどを通して、自分に何が出来るかを考え行動してみたい。継続できる自分の活動テーマと仲間の探索です。
- 地域の人たちとグループで、住んでいる街を理解する事は全く新しい体験なので楽しみにしています。
- 久我山を含めて、地域の歴史や町の様子を知りたいと思ったのがきっかけです。それほど外向的な性格ではないので知らない人との共同作業はやや不安でもあります。
- 区の教育ビジョンに非常に感銘を受け、自分も多様な人々が何かを贈りあいながら共に生きるなかに主体的に参加してみたいと思いました。その手始めとして、近隣にお住まいの方々とゆるくながく繋がれるようになったら嬉しいなと思います。また、高井戸に住んで気付けば 20 年になったにもかかわらず、地元のコト・ヒトをほとんど知らずに過ごしてきたので、そうしたことを知るきっかけにもしたいと思っています。

## 5. 講座内容の紹介

### 第1回 遊ぶ、学ぶ、わくわくするを体験しよう

日 時：令和5年6月3日（土）9:30～12:00

参加者：27人

会 場：高井戸地域区民センター 第9集会室

ゲスト講師：西川 正さん（ハンズオン埼玉常務理事）

#### 【講座内容】

講座のウォーミングアップとして、“遊び”を取り入れたコミュニケーションを体験し、「仲間づくり」のスタートを目的にしましたが、前日までの悪天候の影響で、講師が会場までたどり着くことが出来ないというハプニングから始まりました。講師とも相談し、急遽オンラインで登壇してもらうことになりました。オンラインならではのトラブルも発生しましたが、講師・学習支援者・学びあいの伴走人（学習支援補助者）・事務局スタッフが連携しながら、第1回目の講座を進めることができました。

様々なツールでの参加者同士の会話は、初めて会った人達とは思えない程、弾んでいました。まさに、地域活動は何が起こるかわからないけれど、そうであっても、みんなで力を合わせれば何とか出来る！そう実感できたスタートになりました。

〔記録：学びあいの伴走人 尾関 久子〕



### 第2回 みんなとつながろう

日 時：令和5年7月1日（土）13:30～16:00

参加者：21人

会 場：オンライン

#### 【講座内容】

オンラインを使用したことがある方もない方も、説明を聞きながら参加し、全員の顔が自己紹介の時に見ることができ、良かったです。自己紹介では、発表者が自分の画面で確認できなかったため、不安だったという声も聞きましたが、慣れていない方もハッキリとお話しをされ、皆さんに伝わっていたと思います。

年齢も仕事も様々の方が受講しており、この受講を毎月楽しみにされている方、人と人とのつながりの場として参加されている方、地域をもっと知りたい方、何かコミュニティの場を作りたいと思って参加された方と受講の理由をお互いに知ることができました。

今回、オンラインでは、なかなか話せなかった方も、対面で話す機会が増えることで話していけたらと思います。「ゆるくゆっくりとつながっていける」ように、伴走人としてサポートしていきたいです。

〔記録：学びあいの伴走人 岡田 美津江〕

## 第3回 地域のことを自分たちで考えてみよう

日 時：令和5年7月29日（土）13:30～16:00

参加者：26人

会 場：高井戸地域区民センター 第9集会室

### 【講座内容】

講座の目標であるクイズづくりを行うための「グループ作り」を目的として行いました。

井の頭線各駅(久我山・富士見ヶ丘・高井戸・浜田山)の4コースを設定し、1グループ15人を限度に、受講者の意思を尊重しグループ分けを行いました。その結果、久我山チーム、富士見ヶ丘チーム、高井戸チーム、3つの浜田山チームの、計6チームで進めていくことになりました。

チーム名は、もも(久我山)・シャインマスカット(富士見ヶ丘)・マロン(高井戸)・すいか・洋ナシ・メロン(浜田山)に決定しました。

学習支援者による講義「私にも出来るまちづくりって何？」を行った後、初のグループワークとして「自分たちの地域の幸福論」を議論し、「地域の幸福の指標づくり」を行いグループ間の発表を行いました。

1回・2回を経て3回目でのグループ作りもスムーズに行われ、初めてのグループワークも活発に意見交換が進み、楽しく進めることが出来た回になりました。〔記録：学習支援者 矢野 恒〕



## 第4回 地域を歩いて発見しよう

日 時：令和5年8月19日（土）13:30～16:00

参加者：22人

会 場：高井戸地域区民センター 第9集会室

### 【講座内容】

最高気温が連日35度を超え、熱中症警戒アラートが発令され、講座の後半は街歩きを計画していましたが、「危険な暑さ」に室内の活動に変更しました。

前半は予定通りに、受講者が6グループに分かれ、クイズをつくるそれぞれ6地域について、「いいところ」「課題があるところ」「不思議なところ」を洗い出しました。

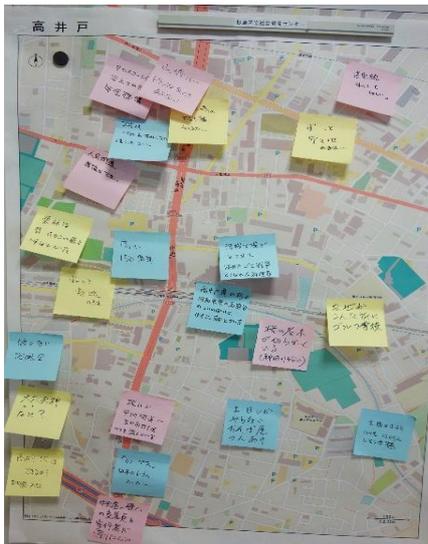
座学「『伝わる』ということ」をテーマに、学びあいの伴走人・平出義明がコミュニケーション術を講じました。話す人は聞く人の立場に立ち（協調の原理）、聞く人は話す人を理解する姿勢（思いやりの原理）によって、意見が対立する時は互いのプラスの面を積極的に取り入れる「いいとこ取り」の姿勢で臨む

と、地域活動に厚みと広がりが出ることを協調。ボールを使ったワークもおこないました。クイズは「人に話したくなる」驚きや気づきから発想することを事例を交えて語りました。

学習支援者の矢野恒さんが、ワニなどの道路上にある動物の絵を示しながら、クイズになりそうな街の不思議や驚くことを例示しました。

後半のグループ活動では、受講者がクイズになりそうな事柄を付箋に書き込み、地図に貼る作業をおこないました。このワークによって受講者の関心事や暮らしの一端を互いに知ることになり、仲間意識が醸されました。

〔記録：学びあいの伴走人 平出 義明〕



## 第5回 地域の歴史を知ろう

日時：令和5年9月9日（土）13:30～16:00

参加者：23人

会場：浜田山会館 第1・2集会室

ゲスト講師：伊東 亜希子さん（杉並区立郷土博物館分館・学芸員）

### 【講座内容】

歴史を解き明かすことによって、地域を深く理解する——杉並区立郷土博物館分館の伊東亜希子学芸員に、久我山～浜田山コースを包括する高井戸地域の歴史を講義してもらいました。取り上げたのは、「高井戸」の地名の由来、甲州街道の「高井戸宿」の姿、「高井戸杉」は近世に良材として建築に用いられ近現代もブランドであったこと、関東大震災をきっかけに設立された浴風会の歴史と建物のこと、「東京ゴミ戦争」と杉並清掃工場操業の経緯、京王井の頭線の変遷などで、旧石器時代から現代までのトピックを通じて地域の成り立ちを通覧しました。

杉並区史跡散歩地図を手に、ポイントを目で追う受講者が目立ちました。あらかじめ講義内容の資料が送付され、事前に調べた受講者もあり、高井戸宿の仕事や役割に関心が高く質問が重なりました。

後半は、6グループが前回、クイズのネタを付箋で記した地図を元に、クイズにしてゆく作業をおこないました。この作業で、グループ内の親近感がいっそう増したようでした。

〔記録：学びあいの伴走人 平出 義明〕



## 第6回 「まち発見クイズ」をつくろう

日 時：令和5年10月14日（土）13:30～16:00

参加者：21人

会 場：浜田山会館 第1・2集会室

### 【講座内容】

第6回目ということで、受講者の皆さんが笑顔で来られる方が多くなったと思います。開始時間を待っている間もグループ内で対話されていて、和やかな雰囲気でした。

11月の発表スタイルについても、受け身ではなく、受講者の皆さんが思い描いていたことを出し合っ  
て、自分達の発表スタイルを決めていました。一人だけが発言するのではなく、意見のある方々が互いの  
意見を尊重しながらディスカッションされていました。大人塾受講者として月に1回会って、共通のテーマ  
でグループワークを重ねていくことで、それぞれが自分の役割を見いだしてくれたのかなと思います。無理なく  
集まって、ゆるくつながって何かを見いだすことができるんだなあと私自身感動しました。まさにこの講座で感  
じ取っていただきたいことの一つだと思います。

グループワーク開始時、各グループのスタートラインは様々でしたが、講座終了時にはほぼ予定通り  
まで進むことができました。発表の形にするところは各グループとも自宅での作業になりますが、11月の発  
表が楽しみです。

〔記録：学びあいの伴走人 岡田 美津江〕



## 第7回 「まち発見クイズ」で遊ぼう

日 時：令和5年11月26日（日）13:30～16:00

参加者：21人

会 場：浜田山会館 第1・2集会室

### 【講座内容】

当初の計画は、実際に地域を歩きながらクイズを解く予定でしたが、今年の猛暑で講座の進め方を受講者と相談しながら修正してきており、今回も発表の仕方は受講者の主体的な意見を取り入れて行われました。

回を重ねる毎にグループの繋がりが深まってきている現状を実感し、予想以上に当日は、受講者もスタッフ側も「クイズ」を楽しめた時間だと思います。他のグループのクイズをチームで回答するスリルや知らなかった地域情報を得る事で、より地域への愛着が深まったと思います。

はじめは、同じ地域に住みながら知らない人同士でしたが、自分の地域を知る事で人との繋がりを感じる講座になってきたと思います。ハプニングから始まりましたが、逆にそれが色々な困難に立ち向かう「チーム」になって来たと感じています。講座終了後も直ぐに帰っていた方々もグループで情報交換等しながら帰る姿が増えて来たように思います。講座の目標である「まち」と「ひと」とつながる、を実感した日になりました。

〔記録：学びあいの伴走人 尾関 久子〕



クイズ優勝チームへの景品は学習支援者・矢野さんの手作りリング！！大いに盛り上がりました。

## 第8回 クイズづくりをふり返ろう

日 時：令和6年1月13日（土）13:30～16:00

参加者：19人

会 場：浜田山会館 第1・2集会室

### 【講座内容】

第8回の講座は、「まち発見クイズ」の発表会も終わり、講座を通しての振り返りの時間としました。既に作成した地域マップに、「まち発見クイズ」づくりを通して新たに知った「地域の情報」や「地域の気づいたこと」、そして「地域の問題点」などなど、地域マップのアップデートを行い、最後のグループワークを終えました。

後半は次回合同成果発表会に向けて、本講座全体を4つフェーズに区分し、フェーズごとのテーマでグループワークを行いました。

フェーズ1：公募～みんなとつながる／初めて会う人たちとのコミュニケーション

フェーズ2:グループワーク開始～クイズの作成/クイズづくりを通しての仲間づくり

フェーズ3:クイズの完成/ネタの紹介とクイズ

フェーズ4:大人塾地域コースに参加して/講座を通じて気持ちの変化

講座終了までは、受講者から集まった「お気に入り写真(地域のお勧めの写真)」を皆で鑑賞し、改めて地域の魅力を知る時間になりました。  
〔記録担当:学習支援者 矢野 恒〕



### ◆◆◆◆◆学びあいの伴走人(学習支援補助者)としてのふり返り◆◆◆◆◆

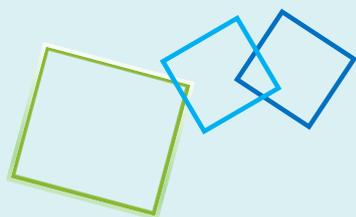
受講者の立場から講座を企画する側になり、自分なりに意識して考えました。実際に講座が進む中で受講者それぞれの想いの違いを知ると同時に、講座を一緒に創り上げる楽しさを実感しました。同じ地域に住みながらも知らない人同士がグループワークを通じてチームになり、地域を意識する目が生まれ、講座の進め方も受講者の意見を取り入れながら臨機応変に対応できた事は良かったと思います。まさに「地域コース」の醍醐味だと思いました。伴走人として共に学びながら、次年度へ繋げていきたいと思います。  
尾関 久子

「久我山～浜田山」コースに学びあいの伴走人として参加しましたが、私自身が大人塾に参加するのが初めてで、受講者と同じ気持ちでいました。

「はじめまして」でスタートして、回を重ねる度に皆さんの距離が縮まっていくのを肌で感じることでできた一年でした。地域は、場所ではなく人なんだなと思います。新しい人と出会うことで地域や社会が広がっていくことがわかって良かったです。これから、どんな方がどんな地域を見つけるのがとても楽しみです。  
岡田 美津江

人と地域と出会う。かつて大人塾の受講者だったとき、人生のたいせつな出会いがあった。だから久我山～浜田山コースも、受講される皆さんの大事な出会いの機会であるよう「まち発見クイズ・プロジェクト」を用意した。受講者同士で地元を歩き、驚きや発見をクイズにする企画だ。ところが“地球沸騰化”の猛暑で地元歩きは断念。それでもグループワークでクイズは完成した。では、人と地域との出会い、果たして、いかがだったか。  
平出 義明

## 学習支援者からの メッセージ



学習支援者

矢野 恒

(やのや主宰、まちづくりコーディネーター)



すぎなみ大人塾地域コース「久我山～浜田山コース」を受講された皆様、長期に渡り足をお運び頂きありがとうございました。テーマである「まち発見クイズづくり」を真摯に取り組んで頂き、とても素晴らしいクイズが出来上がりました。

そして、講座を終え多くの方から、「想像とは異なり楽しい講座だった」、「グループワークがとても楽しかった」、「地域が身近なものになり興味が出てきた」、「地域を知ることによって地域課題を発見し、当事者意識が高まった」などなど様々な感想を頂いており、講座を通じて出会った仲間との「つながり」や「地域への関心」が少しずつ身に付いてきているのではないのでしょうか。

また、本講座では回数を進めながら「主体」を私ども運営サイドから徐々に受講者サイドの皆様に移し、受講者が「主体的」に講座を進めていく形式を取ってきました。この「主体性」こそが、これから皆様が地域に出ていくのに必要なスキルだと思っています。

これから皆様は様々な活動をされるかと思いますが、進む方向は人それぞれですが、出会った仲間との「コミュニティ」を大切に進んで頂ければ幸いです。最後に、学習支援者として大好きな言葉をお贈りしたいと思います。

「参加なくして未来なし 楽しくなくして参加なし」

## 6. 成果

### 地域コースの意義

地域コースでは対象となる地域を舞台に講座を展開しています。今回の久我山～浜田山コースは京王井の頭線沿線の地域を対象とした講座の1年目でした。定員を30人として募集を行ったところ、定員を大きく超える44人からの応募があったことも、地域活動への関心の高さがうかがえます。

さらに、地域包括支援センターに勤務する学びあいの伴走人（学習支援補助者）が発起人として講座の立ち上げに関わったこともあり、各回に地域包括支援センターの方々もオブザーバーとして参加されました。

この地域に住んできた学習支援者、学びあいの伴走人の皆さんと一緒に講座を企画したことで、地域の特徴や面白さ、人的ネットワークなどについても考えながら、講座を組み立てていくことができました。

講座が始まってからは、それまでの地域活動の経験や仕事など、様々なバックボーンをもつ受講者の皆さんと一緒に学びを進めることができました。講座に参加したモチベーションも人それぞれでしたが、グループワークを通して交流を深め、チームワークを高めていくことができました。

### 共に創る講座

1回目と2回目は受講者同士のコミュニケーションを大事にし、話し合いがしやすい関係づくりにつながりました。また、ハプニングがあっても一緒に解決するなど、受講者、学習支援者、学びあいの伴走人、地域包括支援センター、社会教育センター事務局が連携しながら、その都度一緒につくっていく講座となりました。グループワークがスムーズにでき、クイズづくりという方法を通じて盛り上がったのも、このような共創の結果だと考えられます。

地域の高齢者の相談窓口となる地域包括支援センターの方々には、グループワークへ積極的に参加してもらいました。「困りごとがあってから地域の方々に関わりを持ち始めることがほとんどなので、こういった機会でも地域の方々との関係性を築いていけることに、意義を感じます。」といったお話が印象的でした。

地域包括支援センターの皆さんが受講者と生き生きとコミュニケーションを取ってくれたおかげで、各グループが和気あいあいとした雰囲気でもグループワークを進めていき、大きな助けとなっていただきました。

8回目は、各グループで制作したクイズの発表を行いました。学習支援者、学びあいの伴走人、事務局であらかじめ考えていた進め方を提案したところ、受講者の方々から「こういう進め方でクイズの発表をやりたい」と様々な提案が寄せられ、その場で話し合っただけで決めたプランでクイズの発表会を行うことができました。受講者側から積極的な提案が出たことを、事務局の一員として大変嬉しい思いで講座に立ち会っていたことを、よく覚えております。

### ゆるいつながりから自主的な活動へ

講座の開催中から自主的な活動への芽も出ていました。自分たちが作った面白いクイズにゆかりのある場所を訪れながらのウォーキング企画を提案したり、他の地域活動に参加したりする受講者も出てきました。今後、地域での活躍につながるような講座となったのではないかと思います。

## 7. 課題

### **住民として「まち」にどのように関わっていけるか**

この講座をきっかけとして地域を改めて知ったあと、今後、どんな「まち」に住んでみたいのか、「いいまちにはいい学校がある」と聞ければ「いいまち」って何だろうか、などなど、「まちづくり」を意識した活動への足掛かりまでは今回十分に深掘りできなかったのではないかと、学習支援者・学びあいの伴走人（次年度続行）と一緒にふり返りました。

次年度の講座については、実際に地域活動に取り組んでいる人の話を聴く機会をもつなどして、受講者が地域活動の具体的な実践に向けてより大きな一歩を踏み出せるような講座となるよう、考えながら計画を進めています。

学習支援者や学びあいの伴走人、受講者の中には、すでに様々な分野で地域活動に関わっている人も多くいます。これから地域活動に取り組んでいきたいと考えている受講者が、そういった方々とのつながりをより深め、スムーズに地域活動に参加していけるようになる、といった方向性も目指していけるかもしれません。

### **地域性を生かして仕掛ける必要性**

高校や大学などがある久我山～浜田山の地域性も生かしながら、学生などの若い世代に向かって、地域に住む住民の立場から何が提案できるか、また、制度やハードの面ではなく、地域の中で何を仕掛けていけるのか、といった内容にまで踏み込んでみる必要があるのではないかと、今回の講座を通して今後の課題を考えました。

このような課題を反映し、より良い講座ができるよう、学習支援者、学びあいの伴走人、事務局とで意見を出し合い練っていかうと思います。

## 受講者の声

### グループワークをやってみていかがでしたか？

001 |

同じ作業をやるにしても、一人より誰かと一緒のほうが楽しい気がする。自分のペースで進められないという葛藤も込みで。

002 |

初めての参加のため、不安でしたが同じチームの方々のおかげで楽しく参加出来ました。色々な活動に参加されている方も多くお話できて良かったです。

003 |

チームで作業することでチームの団結力が強くなりました。

004 |

一人で考えるより、チームの皆さんの意見は参考になりました。

005 |

メンバーが持ち帰りのテーマをそれぞれ深めていらして驚きました。楽しくなりました。

006 |

チームで動く楽しさを味わいました。

007 |

共同作業がこれまでより多く面白かったと思います。

### 地域コースに参加してみた感想は？

001 |

地域に対する興味と愛がとても強まった。

002 |

今までの振り返りをして、いかに地域のことを理解したか！がわかった。

003 |

知らなかった地元の歴史を沢山学び楽しかったです。

004 |

全9回は多いのか少ないのか。得たものは多いが、今後に繋がれるかどうかは各自に委ねられているだけで。

005 |

講座を受けた仲間の方々と今後も何かの目的でも繋がって行きたいと思います。

006 |

地域にこれだけ、関わりを求めている人がいることに心強く思いました。

007 |

これからが楽しみです！